

今月の言葉・・・2021年9月24日

# しっふう けいそう しる 疾風に勁草を知る

【強い風が吹いた時に本当の強い草が解かる】

社会生活を営む毎日の中で、辛い場면을体験することは誰にもある事だと思います。辛さは個人個人の主観でしか測れません。故に辛い場面から脱却する方法やそれに要する時間は個人差があって当然です。

難儀な事が起こると、また苦手な事に直面すると、誰でも風よけしたくなります。ただ、一時的に風よけをしても難儀は去ってくれません。面倒な事を誰かが片付けてくれたら、片付けをしてくれた人が体験を積み、特を積むのであって、風よけに逃げた人はそのチャンスを逃します。

辛いなアと感じた時こそ、自分の足元の踏ん張りを確認し、弱っていたら補強し、栄養不足を感じたら良い水と、消化に良い食事を摂り、体力をつけるのです。

一時しのぎをした人には、改めて姿を変えてその場面がやってくると言われています。

姿を変えるので、一見違う難儀が次々襲ってくるように感じるかも知れません。

しかし、それは気づきのヒントであって、その時にちゃんと自分と内省して足元を見る癖をつけると、原因がはっきり見えて来て対応ができるのです。学べるはずなのです。

人の性格、根性というのはなかなか上手く変える事は出来ません。私も同じです。ですから自分の目の前に起こっている難儀な事にしっかり目を向け、どう対処していくかを真剣に考えます。土の改良をしたと思っても、バランスが悪いと根の成長が止まります。

水はけが悪いと根腐れが起こって、回復が難しくなります。

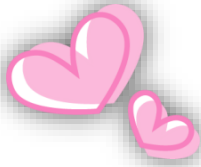
その代わり、程よい土壌にのびのびと自分の良い根を這わせる為に、出来る事を毎日の中で探し、それを行いに变えていく頃が大事だと思って小さな約束を守るようにしています。

根腐れ現象は組織の在り方にも通じる事を良く例に示されます。

ネジの緩みという表現も同様です。緩んでいるネジを見つけても、まだ何とか回っているからもう少し様子を見よう…など呑気な事を言ってネジの締め忘れを放置していると、ある日突然組織の輪が脱輪し大事故になります。

突然の強風が吹いたとしても、たやすくへこたれない強い根っこを作り、少し緩んだと感じるネジに気を留めて、その時々適度に締めておくことが柔軟で健やかな組織作りが出来ます。また真（芯）の強い人間として成長する為に必要なことなのだと思います。

強くなる過程を何度も重ねている人こそが、真のやさしさを提供し、辛い人に寄り添う事が出来るのだと思います。



今月の言葉・・・2021年8月25日

## 発信の良し悪しは『心』しだい

澁沢栄一氏「論語と算盤」より

7月21日に書いた通り、個別に手渡す方法を改め、今月からはHP上に掲載する事にしました。今までは、社員の皆さんに読んで頂く為にだけ書き続けてきましたが、これからは不特定多数？不特定少数？いずれにしてもどなたが目を通して下さるか、全く解りません。それでも、このシリーズを残すのは自分自身への挑戦の一つでもあります。何かを発信するという事はそこに責任が生じます。また先月述べたように勉強を続ける必要があります。自分の経験や知識だけではすぐに枯渇してしまいます。しかし、いざ読み手が定まらない状況で書き始めると、ブログとの違いをどうするか？という課題に直面します。ブログは2007年5月に始め14年を過ぎましたが、その日に感じた事、体験した事からヒントを得ながら書き記してきました。『今月の言葉』ではそのタイトルの通り、魅力的な言葉、意味深い言葉、大事にしていきたい言葉に焦点を当てて、その由来や意味をどう活かしたいか？などを書いてみたいと思います。

『古谷、新たな発信への挑戦』・・・昨今、自身の想いを発信するツールが沢山あり、その効果や影響力が話題になっています。個人名が特定されない場合は、ネガティブな言葉が増えやすい分少し怖いと思います。わたしの場合はどこの誰という事が明確な状態で発信するので、『自由に書くのにもほどほどに』というブレーキがかかります。ブレーキが利くのは実は有難い事です。調子に乗って一言多いと、それが足かせになるという事を色々な場面で学んで来ました。澁沢栄一氏の『論語と算盤』の中に『口舌は実に禍のおこる門でもあるが、また福祉の生ずる門でもある』と記されています。福祉のくる為には多弁はあえて悪いとは言わないが、禍のおこる所に向かっては言語を慎まないといけない。と諭しています。福祉のくるところとは、誰かの役に立つ為に口利きをする、誰かを紹介する、助言をしてあげるなどの考え、行為だと思います。一方、相応しくない場所で心無い言葉を口にしたら『大炎上』に繋がると言う事です。口の利き方、文章の発信も中庸が良い様です。しかし、どの辺が中庸なのかを判断するには人間観察が必要だと思います。そして沢山経験を積む事。失敗も肥やしにすればいいと思います。その一言は、本当に自分で考えた上で、誰かの役に立つであろう言葉なのか？表現は泥臭くても、親身な想いを言葉にすればそれは相手を感じてくれるはずです。言葉を発する。文章を書くと言う事は、何よりも頭の中の整理をするのに役立つという大きなメリットがあります。無限にある言葉の中から、毎月何を選ぼうか？プレッシャーとワクワク感が同居しています。



今月の言葉・・・2021年7月21日

## 今月の言葉を書き続けてきた理由

ヒロ薬品の社員数がまだ20名にもいかない頃、一筆箋に一人一人の顔を思い浮かべながらひと月の間に交わした話や仕事で印象に残った事を書き連ねていたのが事の発症です。給与明細をお渡しする前日に外の仕事で遅くなる時には、出先で宿題をする様な場面も何度もありました。普段あまり話が出来ない方とのコミュニケーションの方法のひとつでした。有難い事に、事業所が一つ二つと増えるごとに社員数も増え、また登録ヘルパーさんにも会社の理念や大切にしたい事を共有するには手書きでは間に合わなくなった事、ある企業様へ訪問させて頂いた際に、毎月社長さんから社員さんに宛てたメッセージが壁に貼られている事を知って『そうだ！私は直接お渡ししよう！！』と言う事を名古屋で決めたのでした。

そして勝手に給与明細に入れ始めたのですが、ある時お渡しした明細を直ぐに開封し、私の文章を読み始めた方を目の当たりにした時、また社員面談の際に、『社長のお手紙を読んで、もう一度本を読みかえして勉強しています』と話して下さった方がいましたがとても嬉しかったです。

時は流れ、紙からデータの時代になりました。ヒロ薬品でもいよいよ給与明細や源泉徴収票をデータで確認していただく事となりました。

よって、皆さんの給与明細の袋に勝手に入れているメッセージはこの形では一応終了という事になります。人様に読んで頂く、思いを文字に変える作業を継続的に行う為には下調べを始め、そこにわたくしのお意思を乗せる事が必須ですので、まずは自分自身がピンとくる言葉に出会う必要がありました。その意味では色々なジャンルの本を読んだり、メルマガの文章をコピーしたり勉強会や講演会で印象に残った言葉や例え話をノートにメモしたりと、日頃からの情報収集は自分自身にとっても大変有意義なものでした。皆さんに一通ずつお渡しするのはこれが最後ですが、発信は別の形で続けていくつもりです。それはHPかも知れませんが、『あっとほ～む☆たいむす』での連載になるかも知れません。

とにかく、ヒロ薬品のあるべき姿、社員一人ひとりの皆さんが文章の端っこだけでも読んで、何かを考えるきっかけが出来たり、やってみようかな？と行動の変化を起して下さいれば本望です。

昨年から続く新型コロナの感染拡大によって、コミュニケーションの取り方、人との距離感の保ち方など、そもそもの価値観が問われていると思います。何が大事なことなのかを今一度考えて良かれと思う方法で皆さんとの交流を大切にしていきたいと思っています。長きにわたり、読んで下さり有難うございました。感謝♡

古谷良子